

副本

特許異議申立書

平成15年12月3日

(48,700円)



特許庁長官 今井康夫 殿

1. 特許異議の申立てに係る特許の表示

特許番号 特許第3412823号

請求項の表示 全請求項

2. 特許異議申立人

住所 〒238-0026 神奈川県横須賀市小矢部3-13-2

氏名 鮫島金治 

3. 申立の理由



異議2003-

72946

### (1) 手続きの経緯

優先権主張	平成 7年 (1995) 8月 25日	米国
出願日	平成 8年 (1996) 8月 22日	
審判請求日	平成 13年 (2001) 9月 17日	
登録日	平成 15年 (2003) 3月 28日	
公報発行日	平成 15年 (2003) 6月 3日	

### (2) 申立の根拠

請求項	1 ~ 40
条文	特許法 29条第2項
証拠	甲第1号証、甲第2号証、甲第3号証、 甲第4号証、甲第5号証、甲第6号証、 甲第7号証、甲第8号証、甲第9号証、 甲第10号証、甲第11号証、甲第12号証、 甲第13号証、甲第14号証、甲第15号証、 甲第16号証、甲第17号証、甲第18号証

### (3) 具体的理由

#### a. 本件特許発明

本件特許の請求項 1 ~ 40 に係る発明は、特許査定時の発明の明細書および図面の記載からみて、その請求項に記載されたとおりの、

#### 【請求項 1】

- (a) キーボード、マウスおよびビデオモニタを具備している多数のワークステーションを多数の遠隔地コンピュータシステムに接続するシステムにおいて、
- (b) ワークステーションに結合され、キーボードおよびマウスによって生成された電気信号を受信して、その電気信号を含む直列データパケットを生成する複数の第1の信号調整装置と、
- (c) 第1の信号調整装置と中央交差点スイッチとの間に結合され、第1の信号調整装置により生成された前記直列データパケットを伝送する複数の第1の通信リンクと、
- (d) 多数の双方向入力部および出力部を含んでおり、入力部から第1の通信リンクによって伝送された直列データパケットを受信し、前記出力部の1以

- 上のものに直列データパケットを導く中央交差点スイッチと、
- (e) 中央交差点スイッチに結合された複数の第2の通信リンクと、
  - (f) それぞれ遠隔地コンピュータシステムに結合され、さらに前記複数の第2の通信リンクの1つに結合されて第2の通信リンクにより伝送された直列データパケットを受信し、遠隔地コンピュータのキーボードおよびマウス入力にそのデータパケットを供給し、また遠隔地コンピュータシステムによって生成されたビデオ信号を受信して、複数の第2の通信リンクの1つで中央交差点スイッチにそのビデオ信号を送信する複数の第2の信号調整装置とを具備し、
  - (g) ビデオ信号は赤色、緑色および青色ビデオ信号、並びに水平および垂直同期信号を含み、
  - (h) また各第2の信号調整装置は、ビデオ信号が中央スイッチに送信される前に、赤色、緑色または青色ビデオ信号のうちの2つに水平および垂直同期信号を符号化するエンコーダ回路を含んでいるシステム。

#### 【請求項2】

ビデオ信号は水平および垂直同期信号の極性を示すモード信号を含み、エンコーダ回路は、ビデオ信号が中央スイッチに送信される前に、赤色、緑色または青色ビデオ信号の1つにモード信号を符号化する請求項1記載のシステム。

#### 【請求項3】

第1の信号調整装置は、赤色、緑色または青色ビデオ信号から水平および垂直同期信号を分離するデコーダ回路を含んでいる請求項1記載のシステム。

#### 【請求項4】

デコーダ回路は、赤色、緑色または青色ビデオ信号からモード信号を分離する請求項3記載のシステム。

#### 【請求項5】

デコーダ回路は、復号されたモード信号に基づいて水平および垂直同期信号の極性を調節する回路を含んでいる請求項4記載のシステム。

#### 【請求項6】

さらに、第1の信号調整装置に含まれ、ビデオモニタによって表示されるビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路を含んでいる請求項

## 5 記載のシステム。

### 【請求項 7】

- (a) キーボードと、カーソル制御装置と、ビデオモニタとを具備しているワークステーションを多数の遠隔地に設置されたコンピュータに接続するシステムにおいて、
- (b) 多数の入力部で受信された信号を多数の出力部に接続するプログラム可能な中央スイッチと、
- (c) ワークステーションのキーボードおよびカーソル制御装置によって生成された信号を受信し、かつキーボードおよびカーソル制御信号を中央スイッチの入力部に送信し、またワークステーションのビデオモニタ上に表示される重畠されるビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路と、表示されたビデオ信号に応答して入力されたキーボードと、カーソル制御装置信号を検出する手段と、中央スイッチの動作を制御するために重畠されたビデオ信号に応答して入力されたキーボードおよびカーソル制御信号を中央スイッチに送信する手段とを含んでいる第1の信号調整回路と、
- (d) 遠隔地に設置されたコンピュータに結合され、中央スイッチの出力からキーボードおよびカーソル制御装置信号を受信して、キーボードおよびカーソル制御装置信号を遠隔地コンピュータに供給する第2の信号調整回路と、
- (e) 前記第1および第2の信号調整回路のそれぞれと中央スイッチとの間で信号を伝送させる手段とを具備しているシステム。

### 【請求項 8】

第2の信号調整回路は、遠隔地コンピュータシステムによって生成されたビデオ信号を受信し、かつ第1の信号調整装置にビデオ信号を導く中央スイッチにビデオ信号を送信し、第1の信号調整装置は中央スイッチからビデオ信号を受信して、ワークステーションのビデオモニタにビデオ信号を供給する請求項7記載のシステム。

### 【請求項 9】

遠隔地コンピュータによって生成されたビデオ信号は、赤色、緑色および青色ビデオ信号、並びに水平および垂直同期信号を含み、また各第2の信号調整回路は、ビデオ信号が中央スイッチに送信される前に、赤色、緑色または青色ビデオ信号のうちの2つに水平および垂直同期信号を符号化する

エンコーダ回路を含んでいる請求項 8 記載のシステム。

【請求項 10】

ビデオ信号は水平および垂直同期信号の適切な極性を示すモード信号を含み、エンコーダ回路は、ビデオ信号が中央スイッチに送信される前に、赤色、緑色または青色ビデオ信号の1つにモード信号を符号化する請求項 9 記載のシステム。

【請求項 11】

第1の信号調整装置は、赤色、緑色または青色ビデオ信号から水平および垂直同期信号を分離するデコーダ回路を備えている請求項 10 記載のシステム。

【請求項 12】

デコーダ回路は、赤色、緑色または青色ビデオ信号からモード信号を分離する請求項 11 記載のシステム。

【請求項 13】

デコーダ回路は、復号されたモード信号に基づいて水平および垂直同期信号を調節する回路を含んでいる請求項 12 記載のシステム。

【請求項 14】

(a)キーボードと、カーソル制御装置と、ビデオモニタとを具備しているワークステーションを1以上の遠隔地に設置されたコンピュータに接続するシステムにおいて、

(b)ワークステーションから遠隔地に設置されたコンピュータにキーボードおよびカーソル制御信号を導き、かつ遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号をワークステーションに導くように切替えが制御されるスイッチと、

(c)ワークステーションにおいて生成されたキーボードおよびカーソル制御信号を受信し、かつキーボードおよびカーソル制御信号をプログラム可能なスイッチに送信する第1の信号調整回路と、

(d)遠隔地に設置されたコンピュータに結合され、前記切替えが制御されるスイッチから送信されたキーボードおよびカーソル制御信号を受信してそれらキーボードおよびカーソル制御信号を遠隔地に設置されたコンピュータに供給し、また遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信し、そのビデオ信号を前記切替えが制御されるスイッチに送信する

第 2 の信号調整回路と、

- (e) 前記第 1 および第 2 の信号調整回路のそれぞれと中央スイッチとの間で信号を伝送させる手段とを具備し、
- (f) 前記第 1 の信号調整回路は、水平および垂直同期信号を受信して、ワークステーションのビデオモニタ上にビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路と、
- (g) 内部水平および垂直同期信号を発生する信号発生器と、
- (h) 信号発生器によって生成された内部水平および垂直同期信号と遠隔地に設置されたコンピュータから受信された外部水平および垂直同期信号とを受信するように供給され、スクリーン上プログラミング回路に供給されるべき内部または外部のいずれかの水平および垂直同期信号を選択するように動作する同期スイッチと、
- (i) 重畠されたビデオ信号に応答して入力されたキーボードおよびカーソル制御信号を検出する手段と、プログラム可能なスイッチの動作を制御するために重畠された信号に応答して入力されたキーボードおよびカーソル制御信号を前記切替えが制御されるスイッチに送信する手段とを具備しているシステム。

#### 【請求項 15】

さらに、同期スイッチによって選択された内部または外部水平および垂直同期信号を受信して、選択された水平および垂直同期信号を活性ロジックレベルに変換する同期ポラライザ回路を含んでいる請求項 14 記載のシステム。

#### 【請求項 16】

さらに、遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信するように結合された入力と、ワークステーションのビデオモニタに結合された出力とを有している第 1 の組のバッファ回路と、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畠されるビデオ信号を受信するように結合された入力を有している第 2 の組のバッファ回路と、ワークステーションのビデオモニタに供給されるビデオ信号が、遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号であるか、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畠されるビデオ信号であるか、或は遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号とスクリーン上プログラミング回路によって生成された重量されるビデオ信号の両方であるかの

いずれかであるように、第1および第2の組のバッファ回路を動作させる制御論理回路とを含んでいる請求項14記載のシステム。

【請求項17】

- (a)キーボードと、カーソル制御装置と、ビデオモニタとを具備しているワークステーションを1以上の遠隔地に設置されたコンピュータに接続するシステムにおいて、
- (b)ワークステーションから遠隔地に設置されたコンピュータにキーボードおよびカーソル制御信号を導き、かつ遠隔地に設置されたコンピュータにより生成されたビデオ信号をワークステーションに導くプログラム可能な中央スイッチと、
- (c)ワークステーションにおいて生成されたキーボードおよびカーソル制御装置信号を受信し、かつキーボードおよびカーソル制御信号をプログラム可能な中央スイッチに送信する第1の信号調整回路と、
- (d)遠隔地に設置されたコンピュータに結合され、プログラム可能な中央スイッチから送信されたキーボードおよびカーソル制御信号を受信し、キーボードおよびカーソル制御信号を遠隔地に設置されたコンピュータに供給し、また遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信し、かつプログラム可能なスイッチにビデオ信号を送信する第2の信号調整回路と、
- (e)前記第1および第2の信号調整回路のそれぞれと中央スイッチとの間で信号を伝送させる手段とを具備し、
- (f)前記第1の信号調整回路は、水平および垂直同期信号を受信してワークステーションのビデオモニタ上にビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路と、
- (g)内部水平および垂直同期信号を発生する信号発生器と、
- (h)信号発生器によって生成された内部水平および垂直同期信号と遠隔地に設置されたコンピュータによって生成された外部水平および垂直同期信号とを受信するよう結合され、スクリーン上プログラミング回路に供給されるべき内部または外部のいずれかの水平および垂直同期信号を選択するよう動作する同期スイッチと、
- (i)同期スイッチによって選択された内部または外部水平または垂直同期信号を受信して、選択された水平および垂直同期信号を活性ロー論理レベルに

変換する同期ポラライザ回路と、重畠されたビデオ信号に応答して入力されたキーボードおよびカーソル制御信号を検出する手段と、

(j)プログラム可能なスイッチの動作を制御するために重畠されたビデオ信号に応答して入力されたキーボードおよびカーソル制御信号をプログラム可能なスイッチに送信する手段とを具備しているシステム。

【請求項 18】

(a)キーボードと、カーソル制御装置と、ビデオモニタとを具備しているワークステーションを少なくとも1つの遠隔地に設置されたコンピュータに接続するシステムにおいて、

(b)前記キーボードおよびカーソル制御装置から前記遠隔地に設置されたコンピュータに信号を導き、かつ遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号をワークステーションに導くプログラム可能なスイッチと、

(c)ワークステーションにおいて生成されたキーボードおよびカーソル制御信号を受信し、かつキーボードおよびカーソル制御信号をプログラム可能なスイッチに送信する第1の信号調整回路と、

(d)遠隔地に設置されたコンピュータに結合され、プログラム可能なスイッチから送信されたキーボードおよびカーソル制御信号を受信して、キーボードおよびカーソル制御信号を遠隔地に設置されたコンピュータに供給し、また遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信し、かつプログラム可能なスイッチにビデオ信号を送信する第2の信号調整回路と、

(e)前記第1および第2の信号調整回路のそれぞれと中央スイッチとの間で信号を伝送させる手段とを具備し、

(f)前記第1の信号調整回路は、水平および垂直同期信号を受信して、ワークステーションのビデオモニタ上に重畠されるビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路と、

(g)内部水平および垂直同期信号を発生する信号発生器と、

(h)信号発生器によって生成された内部水平および垂直同期信号と遠隔地に設置されたコンピュータによって生成された外部水平および垂直同期信号とを受信するように結合され、スクリーン上プログラミング回路に供給されるべき内部または外部のいずれかの水平および垂直同期信号を選択するよう動作する同期スイッチと、

- (i) 同期スイッチによって選択された内部または外部水平および垂直同期信号を受信して、選択された水平および垂直同期信号を活性ロ一論理レベルに変換する同期ポラライザ回路と、
- (j) 遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信するように結合された入力と、ワークステーションのビデオモニタに結合された出力とを有している第1の組のバッファ回路と、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号を受信するように結合された入力と、ワークステーションのビデオモニタに結合された出力とを有している第2の組のバッファ回路と、ワークステーションのビデオモニタに供給されるビデオ信号が、遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号であるか、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号であるか、或は遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号とスクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号の両方であるかのいずれかであるように、第1および第2の組のバッファ回路を動作させる制御論理回路と、
- (k) 重畳されたビデオ信号に応答して入力されたキーボードおよびカーソル制御信号を検出する手段と、
- (l) プログラム可能なスイッチの動作を制御するために重畳されたビデオ信号に応答して入力されたキーボードおよびカーソル制御信号をプログラム可能なスイッチに送信する手段とを具備しているシステム。

【請求項19】

- (a) キーボードと、カーソル制御装置と、ビデオモニタとを具備しているワークステーションと、
- (b) 少なくとも1つの遠隔地に設置されたコンピュータと、
- (c) ワークステーションから受信された信号を遠隔地に設置されたコンピュータに導き、かつ遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号をワークステーションに導くプログラム可能なスイッチと、
- (d) ワークステーションにおいて生成された信号を受信し、かつプログラム可能なスイッチに信号を送信する第1の信号調整回路と、
- (e) 遠隔地に設置されたコンピュータに結合され、プログラム可能なスイッチから送信された信号を受信して、遠隔地に設置されたコンピュータに信号を供給し、また遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号

を受信し、かつプログラム可能なスイッチにビデオ信号を送信する第2の信号調整回路と、

(f)前記第1および第2の信号調整回路のそれぞれとプログラム可能なスイッチとの間で信号を伝送させる手段とを具備し、

(g)第1の信号調整回路は、水平および垂直同期信号を受信してワークステーションのビデオモニタ上に重畠されるビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路と、

(h)内部水平および垂直同期信号を発生する信号発生器と、

(i)信号発生器によって生成された内部水平および垂直同期信号と遠隔地に設置されたコンピュータから受信された外部水平および垂直同期信号とを受信するように結合され、スクリーン上プログラミング回路に供給されるべき内部または外部のいずれかの水平および垂直同期信号を選択する動作する同期スイッチと、

(j)重畠されたビデオ信号に応答してワークステーションからの信号を検出する手段と、

(k)プログラム可能なスイッチの動作を制御するために重畠されたビデオ信号に応答して入力された信号をプログラム可能なスイッチに送信する手段とを具備しているシステム。

#### 【請求項20】

さらに、同期スイッチによって選択された内部または外部水平および垂直同期信号を受信して、選択された水平および垂直同期信号を活性ロー論理レベルに変換する同期ポラライザ回路を含んでいる請求項19記載のシステム。

#### 【請求項21】

さらに、遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信するように結合された入力と、ワークステーションのビデオモニタに結合された出力を有している第1の組のバッファ回路と、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畠されるビデオ信号を受信するように結合された入力を有している第2の組のバッファ回路と、ワークステーションのビデオモニタに供給されるビデオ信号が、遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号であるか、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畠されるビデオ信号であるか、或は遠隔地に設置

されたコンピュータによって生成されたビデオ信号とスクリーン上プログラミング回路によって生成された重畠されるビデオ信号の両方であるかのいずれかであるように、第1および第2の組のバッファ回路を動作させる制御論理回路とを含んでいる請求項19記載のシステム。

【請求項22】

- (a) キーボードと、カーソル制御装置と、ビデオモニタとを具備しているワークステーションと、
- (b) 少なくとも1つの遠隔地に設置されたコンピュータと、
- (c) ワークステーションから受信された信号を遠隔地に設置されたコンピュータに導き、かつ遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号をワークステーションに導くプログラム可能なスイッチと、
- (d) ワークステーションにおいて生成された信号を受信し、かつプログラム可能なスイッチに信号を送信する第1の信号調整回路と、
- (e) 遠隔地に設置されたコンピュータに結合され、プログラム可能なスイッチから送信された信号を受信し、遠隔地に設置されたコンピュータに信号を供給し、また遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信し、かつプログラム可能なスイッチにビデオ信号を送信する第2の信号調整回路と、
- (f) 前記第1および第2の信号調整回路のそれぞれとプログラム可能なスイッチとの間で信号を伝送させる手段とを具備し、
- (g) 前記第1の信号調整回路は、水平および垂直同期信号を受信して、ワークステーションのビデオモニタ上に重畠されるビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路と、
- (h) 内部水平および垂直同期信号を発生する信号発生器と、
- (i) 信号発生器によって生成された内部水平および垂直同期信号と遠隔地に設置されたコンピュータによって生成された外部水平および垂直同期信号とを受信するように結合され、スクリーン上プログラミング回路に供給されるべき内部または外部のいずれかの水平および垂直同期信号を選択するように動作する同期スイッチと、
- (j) 同期スイッチによって選択された内部または外部水平および垂直同期信号を受信して、選択された水平および垂直同期信号を活性ロー論理レベルに変換する同期ポラライザ回路と、重畠されたビデオ信号に応答して生成され

たワークステーションからの信号を検出する手段と、

- (k)プログラム可能なスイッチの動作を制御するために重畠されたビデオ信号に応答して生成された信号をプログラム可能なスイッチに送信する手段とを具備しているシステム。

【請求項 23】

- (a)キーボード、カーソル制御装置およびビデオモニタを含むタイプのワークステーションと、  
(b)少なくとも 1 つの遠隔地に設置されたコンピュータと、  
(c)ワークステーションから受信された信号を遠隔地に設置されたコンピュータに導き、かつ遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号をワークステーションに導くプログラム可能なスイッチと、  
(d)ワークステーションにおいて生成された信号を受信し、かつプログラム可能なスイッチに信号を送信する第 1 の信号調整回路と、  
(e)遠隔地に設置されたコンピュータに結合され、プログラム可能なスイッチから送信された信号を受信し、遠隔地に設置されたコンピュータに信号を供給し、また遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信し、かつプログラム可能なスイッチにビデオ信号を送信する第 2 の信号調整回路と、  
(f)前記第 1 および第 2 の信号調整回路のそれぞれとプログラム可能なスイッチとの間で信号を伝送させる手段とを具備し、  
(g)前記第 1 の信号調整回路は、水平および垂直同期信号を受信してワークステーションのビデオモニタ上に重畠されるビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路と、  
(h)内部水平および垂直同期信号を発生する信号発生器と、  
(i)信号発生器によって生成された内部水平および垂直同期信号と遠隔地に設置されたコンピュータによって生成された外部水平および垂直同期信号とを受信するように結合され、スクリーン上プログラミング回路に供給されるべき内部または外部のいずれかの水平および垂直同期信号を選択するように動作する同期スイッチと、  
(j)同期スイッチによって選択された内部または外部水平および垂直同期信号を受信して、選択された水平および垂直同期信号を活性ロー論理レベルに変換する同期ポラライザ回路と、

(k) 遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信するように結合された入力と、ワークステーションのビデオモニタに結合された出力を有している第1の組のバッファ回路と、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号を受信するように結合された入力と、ワークステーションのビデオモニタに結合された出力を有している第2の組のバッファ回路と、ワークステーションのビデオモニタに供給されるビデオ信号が、遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号であるか、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号であるか、或は遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号とスクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号の両方であるかのいずれかであるように、第1および第2の組のバッファ回路を動作させる制御論理回路と、

- (l) 重畳されたビデオ信号に応答してワークステーションで生成された信号を検出する手段と、  
(m) プログラム可能なスイッチの動作を制御するために重畳されたビデオ信号に応答して生成された信号をプログラム可能なスイッチに送信する手段とを具備しているシステム。

#### 【請求項24】

- (a) 各キーボードおよび複数のコンピュータのアナログビデオ出力のそれぞれ独立した専用ケーブルに物理的に同時に接続されるコンピュータ側のインターフェイスと、  
(b) 第1のキーボードおよび第1のモニタのアナログビデオ入力の独立した専用ケーブルの第1のセットに物理的に接続されたユーザ側のインターフェイスと、  
(c) コンピュータ側のインターフェイスを通って複数のコンピュータの1つからアナログビデオ信号を受信するためのコンピュータ側のインターフェイスに接続されたアナログビデオ受信回路と、  
(d) スイッチングシステムの内部でアナログオーバレイビデオ信号を生成するようにコンピュータ側のインターフェイスとユーザ側のインターフェイスの間に配置されたアナログビデオオーバレイイメージ生成回路と、  
(e) (1) アナログビデオ受信回路によって受信されたアナログビデオ信号の一部と、(2) ユーザ側のインターフェイスを介して第1のモニタに対する出

力である結合されたアナログ信号を形成するスイッチングシステムの内部で生成されたアナログオーバレイビデオ信号とを結合するためのコンピュータ側のインターフェイスとユーザ側のインターフェイスの間に配置されたアナログビデオオーバレイ回路を具備しているスイッチングシステム。

【請求項 25】

アナログビデオ受信回路がさらに複数のコンピュータの1つからアナログビデオ信号と対応する水平および垂直同期信号の1つを検出するための同期信号検出回路を具備している請求項 24 記載のシステム。

【請求項 26】

コンピュータ側のインターフェイスはさらに複数のコンピュータのマウスポートとの間で信号を送受信するためのコンピュータ側マウスインターフェイスを具備し、ユーザ側のインターフェイスはさらに第1のコンピュータマウスとの間で信号を送受信するためのユーザ側マウスインターフェイスを具備している請求項 24 記載のシステム。

【請求項 27】

アナログビデオオーバレイ回路は(1)アナログビデオ受信回路によって受信されたアナログビデオ信号の一部分と(2)フレームバッファを必要とせずにスイッチングシステム内部で生成したアナログオーバレイビデオ信号とを多重化するためのマルチプレクサを具備している請求項 24 記載のシステム。

【請求項 28】

さらにユーザ側のインターフェイスで使用された第1のフォーマットからコンピュータ側のインターフェイスで使用された第2のフォーマットへキーボードコードを変換するためのコンピュータ側のインターフェイスとユーザ側のインターフェイスとの間に配置されたキーボード変換器を具備している請求項 24 記載のシステム。

【請求項 29】

アナログビデオ受信回路は分離したアナログ赤色、緑色、および青色信号を受信する請求項 24 記載のシステム。

【請求項 30】

アナログビデオ受信回路は実時間アナログビデオ信号を受信するための受信回路を具備している請求項 25 記載のシステム。

【請求項 3 1】

アナログビデオ受信回路は実時間アナログビデオ信号上に重畠された水平および垂直同期信号の少なくとも一方を含む実時間アナログビデオ信号を受信するための受信回路を具備している請求項 25 記載のシステム。

【請求項 3 2】

アナログビデオ受信回路は、分離したアナログ赤色、緑色および青色信号を受信する請求項 30 記載のシステム。

【請求項 3 3】

アナログビデオ受信回路は、分離したアナログ赤色、緑色および青色信号を受信する請求項 31 記載のシステム。

【請求項 3 4】

デジタル背部材とアナログ背部材とをさらに具備し、キーボード情報はアナログ背部材上でコンピュータ側のインターフェイスからユーザ側のインターフェイスまでの経路が設定されるアナログビデオ信号とは独立してデジタル背部材上でコンピュータ側のインターフェイスからユーザ側のインターフェイスへの経路が設定されている請求項 24 記載のシステム。

【請求項 3 5】

コンピュータ側のインターフェイスがコンピュータ側のインターフェイスに並列に複数のコンピュータを接続するための並列スイッチを具備している請求項 24 記載のシステム。

【請求項 3 6】

ユーザ側のインターフェイスはさらに第 2 のキーボードおよび第 2 のモニタのアナログビデオ入力の独立した専用ケーブルの第 2 のセットに接続するための第 2 のユーザインターフェイスを具備して、複数のコンピュータのいずれかのアナログビデオ信号は並列に第 1 および第 2 のモニタの両方に同時に導かれる請求項 24 記載のシステム。

【請求項 3 7】

コンピュータ側のインターフェイスとユーザ側のインターフェイスの間に配置され、複数のコンピュータの 1 つのアナログビデオ信号が複数のコンピュータの別のコンピュータのアナログビデオ信号によって置き換えられるように第 1 のキーボードが要求したときそれを検出するキーボードコマンド検出器を具備している請求項 24 記載のシステム。

【請求項 38】

デジタル背部材とアナログ背部材とをさらに具備し、キーボード情報は、アナログ背部材上でコンピュータ側のインターフェイスからユーザ側のインターフェイスへの経路を設定されたアナログビデオ信号とは独立してデジタル背部材上でコンピュータ側のインターフェイスからユーザ側のインターフェイスへの経路を設定される請求項 37 記載のシステム。

【請求項 39】

コンピュータ側のインターフェイスとユーザ側のインターフェイスの間に配置され、ユーザ側のインターフェイスを介して第 1 のモニタに対する出力である結合されたアナログ信号に応答して複数のコンピュータの 1 つのアナログビデオ信号が複数のコンピュータの別のコンピュータのアナログビデオ信号によって置き換えられるように第 1 のキーボードが要求したときにそれを検出するキーボードコマンド検出器を具備している請求項 24 記載のシステム。

【請求項 40】

デジタル背部材とアナログ背部材とをさらに具備し、キーボード情報は、アナログ背部材上でコンピュータ側のインターフェイスからユーザ側のインターフェイスへの経路を設定されたアナログビデオ信号とは無関係にデジタル背部材上でコンピュータ側のインターフェイスからユーザ側のインターフェイスへの経路を設定される請求項 39 記載のシステム。」

にあることは明らかである。

そして、本件請求項 1 ~ 40 の発明は、複雑な配線方式を必要とせずに、中央に配置されたネットワーク管理者が多数のサーバーコンピュータを長距離に渡って動作することを可能にするコンピュータ化されたスイッチングシステムを提供する目的効果を奏する旨、記載されている。

b. 証拠の説明

(1) 甲第 1 号証 (特開平 5 - 27721 号公報)

1. 甲第 1 号証の図 1 およびその説明には、キーボード 4 a2 ~ 4 m2、I C カードや FD の情報格納デバイス 6、7、ビデオモニタ (表示器) 4 a1n、4 a1a ~ 4 m1n、4 m1a を備えたワークステーション (操作端末機) 4 a ~ 4 m と、遠隔地に配置された複数の株価情報用のコンピュータシステム

(情報端末装置) 1 a ~ 1 n とが、中央交差点スイッチ（ビデオ信号切替器 3 a、制御器 3 b、メモリ 3 c を具備した制御装置 3 が対応）3 を介して結合されたシステムが開示されている。

2. また甲第 1 号証のワークステーション 4 a ~ 4 m は、キーボード 4 a2 ~ 4 m2 や情報格納デバイス 6、7 によって生成されるデータ信号を受信し、それをワークステーション-切替器間の第 1 の通信リンク（ビデオ信号ライン 1 1 a ~ 1 1 m と制御信号ライン 1 4 a ~ 1 4 m）を通じて中央交差点スイッチ 3 の制御器 3 へ送出する第 1 の信号調整装置（制御部）4 a3 ~ 4 m3 を備えている。

3. さらに甲第 1 号証の中央交差点スイッチ 3 は切替器-遠隔地コンピュータシステム間の第 2 の通信リンク（ビデオ信号ライン 1 0 a ~ 1 0 n、9 a ~ 9 n と制御信号ライン 1 3 a ~ 1 3 n、1 2 a ~ 1 2 n）と、第 2 の信号調整装置（インターフェース装置）2 a ~ 2 n を介して遠隔地コンピュータシステム 1 a ~ 1 n に結合している。

そして、第 2 の信号調整装置 2 a ~ 2 n のキーデータ変換器 2 a2 ~ 2 n2 は、第 2 の通信リンク 1 3 a ~ 1 3 n、1 2 a ~ 1 2 n を通じて、キーボード 4 a2 ~ 4 m3 や情報格納デバイス 6、7 によって生成されるデータ信号を受信し、それを遠隔地コンピュータシステム 1 a ~ 1 n に供給している。またそのビデオ信号変換器 2 a1 ~ 2 n1 は遠隔地コンピュータシステム 1 a ~ 1 n によって生成されたビデオ信号を信号ライン 9 a ~ 9 n、1 0 a ~ 1 0 n を通じ受信し、それを中央交差点スイッチ 3 へ供給することが記載されている。

4. また甲第 1 号証においては、ワークステーションのビデオモニタにビデオ信号が供給されるものであり、当該ビデオ信号が赤色 (R)、緑色 (G)、青色 (B) の色信号と水平同期信号および垂直同期信号を含むことは明らかである。

## (2) 甲第 2 号証 (特開平 5 - 81196 号公報)

1. 甲第 2 号証の図 1 およびその説明には、キーボード 1 5 · 1 ~ 1 5 · 11、パソコン等のデスクサイド端末制御部 1 9 · 1 ~ 1 9 · n、ビデオモニタ（表示部）1 4 · 1 · 1 ~ 1 4 · n · 11、2 1 · 1 ~ 21 · n がワークステーションコントローラ 1 3 · 1 ~ 1 3 · n に接続する複数のワークステーション 1 2 · 1 ~ 1 2 · n と、

遠隔地に配置された複数のビデオ情報用のコンピュータシステム（ソース端末制御部） $2 \cdot 1 \sim 2 \cdot n$  とが、中央交差点スイッチ（スイッチマトリクスコントローラ 8、キーボードスイッチコントローラ 9 が対応）を介して結合されたシステムが開示されている。

2. また甲第 2 号証のワークステーション $1 \cdot 2 \cdot 1 \sim 1 \cdot 2 \cdot n$  は、キーボード $1 \cdot 5 \cdot 1 \sim 1 \cdot 5 \cdot 11$  やデスクサイド端末制御部 $1 \cdot 9 \cdot 1 \sim 1 \cdot 9 \cdot n$  によって生成されるデータ信号を受信し、それをワークステーションスイッチマトリクス切替器間の第 1 の通信リンク（ビデオ信号線 $1 \cdot 0 \cdot 1 \cdot 1 \sim 1 \cdot 0 \cdot n \cdot n$  とキーボード信号線 $1 \cdot 1 \cdot 1 \sim 1 \cdot 1 \cdot n$ ）を通じて中央交差点スイッチのスイッチマトリクスコントローラ 9 とキーボードスイッチコントローラ 9 へ送出する第 1 の信号調整装置（ワークステーションコントローラ $1 \cdot 3 \cdot 1 \sim 1 \cdot 3 \cdot n$  が対応）を備えている。

3. さらに甲第 2 号証の中央交差点スイッチはスイッチマトリクスコントローラ遠隔地コンピュータシステム間の第 2 の通信リンク（ビデオ信号線 $6 \cdot 1 \sim 6 \cdot n$ 、 $3 \cdot 1 \sim 3 \cdot n$  とキーボード信号線 $7 \cdot 1 \sim 7 \cdot n$ 、 $4 \cdot 1 \sim 4 \cdot n$ ）と、第 2 の信号調整装置（ソース端末 $1 / F \cdot 1 \sim F \cdot n$ ） $5 \cdot 1 \sim 5 \cdot n$  を介して遠隔地コンピュータシステム $2 \cdot 1 \sim 2 \cdot n$  に結合している。

そして、第 2 の信号調整装置 $5 \cdot 1 \sim 5 \cdot n$  のソース端末機 $1 / F \cdot 1 \sim F \cdot n$  は、第 2 の通信リンク $7 \cdot 1 \sim 7 \cdot n$ 、 $4 \cdot 1 \sim 4 \cdot n$  を通じて、キーボード $1 \cdot 5 \cdot 1 \sim 1 \cdot 5 \cdot 11$  やデスクサイド端末制御部 $1 \cdot 9 \cdot 1 \sim 1 \cdot 9 \cdot n$  によって生成されるデータ信号を受信し、それを遠隔地コンピュータシステム $2 \cdot 1 \sim 2 \cdot n$  に供給している。またそのソース端末機 $1 / F \cdot 1 \sim F \cdot n$  は遠隔地コンピュータシステム $2 \cdot 1 \sim 2 \cdot n$  によって生成されたビデオ信号を信号ライン $3 \cdot 1 \sim 3 \cdot n$ 、 $6 \cdot 1 \sim 6 \cdot n$  を通じ受信し、それを中央交差点スイッチへ供給することが記載されている。

4. また甲第 2 号証においては、ワークステーションのビデオモニタにビデオ信号が供給されるものであり、当該ビデオ信号が赤色（R）、緑色（G）、青色（B）の色信号と水平同期信号および垂直同期信号を含むことは明らかである。

### (3) 甲第 3 号証 (特開平 4 - 177525 号公報)

1. 甲第 3 号証の第 1 図およびその説明等には、キーボード 4 1 と 5 1、マ

ウス42と52、ビデオモニタ（表示装置）4と5を具備する複数のワークステーション（実施例では2組）と、遠隔地に位置する複数のコンピュータシステム（実施例では3組のCPU）1、2、3とが、中央交差点スイッチ（切替器）6を介して結合されたシステムが開示されている。

尚、甲第1号証の第2頁右上欄第18行目～左下欄第1行目と同第15行目～第17行目、および第5頁左上欄第5行目～第7行目には、従来はキーボードやマウス等の入力機器がCPUにくくり付けであったものを、本発明では中央交差点スイッチを介してワークステーションのキーボード、マウスでCPUを制御することから、CPUの入力装置設置場所まで移動しなくとも良い旨説明されているので、甲第1号証のワークステーションとCPUが遠隔地配置にあることは明らかである。

2. また甲第3号証の各ワークステーションは切替スイッチボタンB41～B43、B51～B53を具備しており、当該切替スイッチボタンは切替器6内の制御回路65と切替信号制御回路63、64を介してアナログスイッチS111～S113、S211～S213とデジタルスイッチS121～S123、S131～S133、S221～S223、S231～S233を選択制御することで、キーボードとマウスのデータ信号を選択されたCPUへ出力し、かつ当該CPUからの画像信号を選択されたビデオモニタへ出力されるように切替器6を制御することが記載されている。

3. また甲第3号証においては、ワークステーションのビデオモニタにビデオ信号が供給されるものであり、当該ビデオ信号が赤色（R）、緑色（G）、青色（B）の色信号と水平同期信号および垂直同期信号を含むことは明らかである。

#### (4)甲第4号証（特開平5-27890号公報）

甲第4号証の図1、3およびその説明等には、キーボード制御部1、マウス制御部2よりのデータ信号を、出力制御装置4を介してコンピュータシステム（処理装置）5へ送信する際に、データ変換部6により図3、4のような直列データパケットに変換して送信することが開示されている。

#### (5)甲第5号証（特開平7-141279号公報）

甲第6号証の図1およびその説明等には、複数のワークステーションとサ

一バ等遠隔地コンピュータシステム間がアクセスを行うローカルエリアネットワークに関する発明が開示されており、その際の送信データを図 8 の直列データパケットにして送受信することが示されている。

(6)甲第 6 号証（特開平 7 - 4 6 5 5 7 号公報）

甲第 6 号証の図 1 およびその説明等には、動画と静止画の切替送信により、ネットワークを介した情報交換を遠隔に行うシステムが開示されており、その際の送信データを図 5 の直列データパケットにして送受信することが示されている。

(7)甲第 7 号証（特開平 5 - 1 5 8 4 5 1 号公報）

甲第 7 号証はインターフェースの信号線数を最小にできる 3 線式カラーモニタ装置に関する発明を開示するもので、その図 1 およびその説明等には CRT 制御ユニットによりカラーモニタを制御する 3 線式のカラーモニタ装置の全体構成が示されている。

これは、CRT 制御ユニットの色・同期信号合成部 7 において、色信号出力部 1 より出力される R、G、B 信号と、複合同期信号出力回路 5 より出力され設定部 1 3 を通じて入力する垂直同期信号と水平同期信号を合成して符号化し、図 2 の R、G、B のコンポジットビデオ信号を生成することが示されている。

また当該 R、G、B コンポジット信号は 3 線式にてカラーモニタ側の走査周波数選択回路部 2 5 に伝送され、図 4 に示されるように、同期信号分離回路部 2 6 において RGB 信号と複合同期信号の周波数成分を分離し、さらに垂直・水平同期分離回路 3 1 にて複合同期信号から垂直同期信号と水平同期信号を分離出力し、発信回路 3 3、偏向回路 3 4 を通じて走査ビームを制御して、画像表示することが示されている。

(8)甲第 8 号証（特開平 5 - 6 1 4 4 5 号公報）

甲第 8 号証の図 1 および説明等には、制御部 2 のディスプレイ表示回路 2 3 と重畠回路 2 6 にて RGB 信号と垂直・水平同期信号を合成し符号化して図 3 の伝送信号を生成し、これを 3 線式にてディスプレイ部 1 の調整データ分離回路 1 1 にて重畠信号を分離し、調整データレジスタ群 1 2、制

御回路 1 3 を通じて C R T 1 4 に画像表示することが示されている。

(9)甲第 9 号証 (特開平 7 - 1 5 7 4 2 号公報)

甲第 9 号証には画像信号をディスプレイ表示する制御に関する発明が開示されており、この映像合成同期信号をディスプレイ側の分離回路にて色信号と同期信号を分離して画像表示することが示されている。

(10)甲第 1 0 号証 (特開平 6 - 5 1 7 2 9 号公報)

甲第 1 0 号証には画像信号をディスプレイ表示する制御に関する発明が開示されており、この映像合成同期信号をディスプレイ側の分離回路にて色信号と同期信号を分離して画像表示することが示されている。

また甲第 1 0 号証には、R G B の色信号と水平同期信号および垂直同期信号を合成した複数の入力信号を、水平同期信号および垂直同期信号を検出することで入力信号経路を切り替える構成が開示されている。

(11)甲第 1 1 号証 (特開平 6 - 9 5 6 3 9 号公報)

甲第 1 1 号証の図 1、5 およびその説明等には、ビデオモニタの画像表示画面上に、文字や図形のビデオ信号を生成して表示するオンスクリーンディスプレイ (O S D) 表示に関する発明が開示されている。

(12)甲第 1 2 号証 (特開平 6 - 1 3 3 2 4 3 号公報)

甲第 1 2 号証には甲第 1 1 号証と同様、O S D 表示に関する発明が開示されている。

(13)甲第 1 3 号証 (特開平 6 - 1 3 3 2 4 0 号公報)

甲第 1 3 号証にも甲第 1 1 号証と同様、O S D 表示に関する発明が開示されている。また甲第 1 3 号証の図 1 およびその説明等には、切り替えスイッチ 9 によってビデオ信号と O S D 表示を切り換えることが示されている。

(14)甲第 1 4 号証 (特開平 7 - 1 5 6 8 1 号公報)

甲第 1 4 号証にも甲第 1 1 号証と同様、O S D 表示に関する発明が開示されている。また甲第 1 4 号証の図 1、図 4 およびその説明等には、ビデオ

信号プロセッサ 30 或いはマルチプレクサ 104 によってビデオ信号と O S D 表示を多重化することが示されている。

(15)甲第 15 号証 (特開平 5-227453 号公報)

甲第 15 号証には、T V、V T R 等の画像機器に使用される表示画面の画像信号である水平・垂直同期信号の周波数調整装置 (A F C) に関する発明が開示されている。甲第 15 号証の A F C は図 26 およびその説明等開示されているように、外部同期信号 HSYNC# と内部同期信号発生部 90 よりの内部同期信号 HSYNCX の同期状態を周期・位相検出部 100 が監視している。両者が同期状態にある場合は HSYNC 出力制御部 112 は同期信号 HSYNC を出力し、両者の同期状態が乱れた場合は HSYNC 出力制御部 112 は外部同期信号 HSYNC# の入力を停止し、内部同期信号 HSYNCX を出力するよう制御される。

(16)甲第 16 号証 (特開平 5-299984 号公報)

甲第 16 号証には、テレビジョンや V T R 等の映像機器の A F C 等に用いられる周波数倍回路を有する画像表示装置が開示されている。甲第 16 号証の表示装置は図 4 およびその説明等に示されるように、A F C 回路 300 が、内部同期信号発生器 (基本クロック発生) よりの内部同期信号と、外部同期信号 (VIDEO 信号) の同期状態を監視し、かつその同期状態に応じて内部か外部の同期信号を選択し、O S D 310 の O S D 表示を制御する構成となっている。

(17)甲第 17 号証 (特開平 5-14682 号公報)

甲第 17 号証の図 5 およびその説明には、水平同期信号 H S Y N C をインバータ 451 にて反転し、画像処理することが示されている。

(18)甲第 18 号証 (実開平 5-4668 号公報)

甲第 18 号証の図 2、3 およびその説明には、水平同期信号 H D および垂直同期信号 VD をインバータ 47、65 にて反転し、カラーテレビ信号を制御することが示されている。

### c. 本件特許発明と証拠との対比

#### (請求項 1)

1. 甲第 1 号証および甲第 2 号証には、入力装置とビデオモニタを有する複数のワークステーションと複数の遠隔地コンピュータとを、第 1 の信号調整装置、第 1 の通信リンク、中央交差点スイッチ、第 2 の通信リンク、第 2 の信号調整装置を介して結合し、ワークステーションの入力装置の入力信号が第 1 の信号調整装置—第 1 の通信リンク—中央交差点スイッチ—第 2 の通信リンク—第 2 の信号調整装置を通じて遠隔地コンピュータを制御し、その制御に伴う画像信号が遠隔地コンピュータからワークステーションのビデオモニタに対し、第 2 の信号調整装置—第 2 の通信リンク—中央交差点スイッチ—第 1 の通信リンク—第 1 の信号調整装置を通じて伝送されるビデオ信号がビデオモニタに画像表示される、遠隔制御のコンピュータシステムが開示されている。

従って、甲第 1 号証および甲第 2 号証は以下の 2 項で述べる点を除き、本請求項 1 の構成要素(a)～(h)のそれぞれに対応する構成を開示している。

2. 甲第 1 号証と甲第 2 号証は、本請求項 1 の構成要素(a)～(h)に対し、下記 3 点の構成を開示していない。

①本請求項 1 の構成要素(a)における「マウス」、構成要素(b)における「マウスによって生成される電気信号」

②本請求項 1 の構成要素(b)(c)(d)における「直列データパケット」

③本請求項 1 の構成要素(h)における「赤色、緑色または青色ビデオ信号のうちの 2 つに水平および垂直同期信号を符号化するエンコーダ回路」

3. しかしながら、甲第 3 号証には、複数のワークステーションで遠隔地コンピュータを切替器を介して遠隔制御するコンピュータシステムにおいて、各ワークステーションにキーボード、マウス、ビデオモニタを設け、且つキーボード／マウス信号を遠隔地コンピュータへ入力する構成が開示されている。従って、上記①は公知技術に過ぎないものである。

また、甲第 4 号証～甲第 6 号証には、キーボード信号やマウス信号、センサ信号、ワークステーションとサーバ間の信号を直列データパケットにて転送する技術が開示されている。従って、上記②は周知技術に過ぎないものである。

さらに、甲第 7 号証～甲第 9 号証には、ビデオ信号をビデオモニタ側へ

送信する前に、ビデオ信号の R G B 信号と水平および垂直同期信号を合成して 3 線式信号にてビデオモニタ側へ出力する技術が開示されている。従って、上記③も周知技術に過ぎないものである。

4. 以上のように、甲第 1 号証および甲第 2 号証には本請求項 1 の構成要素(a)～(h)に対応する構成が示されており、それに開示されていない①～③の構成も公知、周知の技術に過ぎないものであるから、本請求項 1 の構成は当業者が容易に発明し得るもので、特許法第 29 条第 2 項の規定に該当する。

#### (請求項 2)

甲第 7 号証の表 1 およびその説明等には、水平および垂直同期信号の極性を示すモード信号も含めて R G B 信号と合成し符合化してビデオ信号とすることが示されている。

また、甲第 9 号証の図 10、14 の同期オングリーン波形図およびその説明にも、水平および垂直同期信号の極性を示すモード信号も含めて R G B 信号と合成し符合化してビデオ信号とすることが示されている。

従って、本請求項 2 は公知技術に過ぎないものである。

#### (請求項 3)

甲第 7 号証の図 1 には、同期信号分離回路 26、垂直・水平同期分離回路 31 が、甲第 9 号証の図 1 には水平／垂直同期分離部 13 が示されている。

従って、本請求項 3 は公知技術に過ぎないものである。

#### (請求項 4)

甲第 7 号証の図 1 には走査モード検出回路 32 が、甲第 9 号証の図 2 には映像合成同期信号判別部 32 が示されている。

従って、本請求項 4 は公知技術に過ぎないものである。

#### (請求項 5)

甲第 7 号証には走査周波数設定回路 33 が、甲第 9 号証の図 2 にパルス感知部 35 とパルス変換部 36 が示されている。

従って、本請求項 5 は公知技術に過ぎないものである。

(請求項 6)

甲第 11 ~ 14 号証には、ビデオモニタ側の画像表示回路に OSD を設けることが開示されている。

従って、本請求項 6 は周知技術に過ぎないものである。

(請求項 7)

1. 甲第 1 号証および甲第 2 号証には、入力装置とビデオモニタを有する複数のワークステーションと複数の遠隔地コンピュータとを、第 1 の信号調整装置、第 1 の通信リンク、中央交差点スイッチ、第 2 の通信リンク、第 2 の信号調整装置を介して結合し、ワークステーションの入力装置の入力信号が第 1 の信号調整装置 - 第 1 の通信リンク - 中央交差点スイッチ - 第 2 の通信リンク - 第 2 の信号調整装置を通じて遠隔地コンピュータを制御し、その制御に伴う画像信号が遠隔地コンピュータからワークステーションのビデオモニタに対し、第 2 の信号調整装置 - 第 2 の通信リンク - 中央交差点スイッチ - 第 1 の通信リンク - 第 1 の信号調整装置を通じて伝送されるビデオ信号がビデオモニタに画像表示される、遠隔制御のコンピュータシステムが開示されている。

また、甲第 1 号証の中央交差点スイッチ 3 の制御部 3 b は、ビデオ信号切換処理 I、情報端末装置の画面切替処理 II を実行するもので、プログラム可能であることは明らかである。同様に、甲第 2 号証の中央交差点スイッチ 8 はスイッチマトリクスコントローラであり、プログラム可能であることも明らかである。

従って、甲第 1 号証および甲第 2 号証は以下の 2 項で述べる点を除き、本請求項 7 の構成要素(a)~(e)のそれぞれに対応する構成を開示している。

2. 甲第 1 号証と甲第 2 号証は、本請求項 7 の構成要素(a)~(e)に対し、下記 2 点の構成を開示していない。

- ① 本請求項 1 の構成要素(a)における「カーソル制御装置」、構成要素(c)(d)における「カーソル制御装置信号」
  - ② 本請求項 1 の構成要素(c)における「スクリーン上プログラミング回路」
3. しかしながら、甲第 3 号証には、1 つのワークステーションで複数の遠

隔地コンピュータを切替器を介して遠隔制御するコンピュータシステムにおいて、当該ワークステーションにキーボード、マウス、ビデオモニタを設け、且つキーボード／マウス信号を遠隔地コンピュータへ入力する構成が開示されている。従って、上記①は公知技術に過ぎないものである。

また、甲第11号証～甲第14号証には、ビデオモニタの画像表示画面上に、文字や図形のビデオ信号を生成して表示するオンスクリーンディスプレイ(OSD)表示の構成が開示されている。従って、上記②は周知技術に過ぎないものである。

4. 以上のように、甲第1号証および甲第2号証には本請求項1の構成要素(a)～(e)に対応する構成が示されており、それに開示されていない①②の構成も公知、周知の技術に過ぎないものであるから、本請求項7の構成は当業者が容易に発明し得るもので、特許法第29条第2項の規定に該当する。

#### (請求項8)

甲第1号証には、本請求項8と同様の第1の信号調整装置4a3～4m3と、第2の信号調整装置2a～2nが開示されている。また甲第2号証にも、同様の第1の信号調整装置であるワークステーションコントローラ13-1～13-nと、第2の信号調整装置であるソース端末装置(1/F1～Fn)5-1～5-nが開示されている。

従って、本請求項8は公知技術に過ぎないものである。

#### (請求項9)

甲第7号証～甲第8号証に、RGB信号と垂直・水平同期信号を合成し符号化したビデオ信号をビデオモニタ側へ3線式にて伝送し、ビデオモニタに画像表示する構成が開示されている。

従って、本請求項9は公知技術に過ぎないものである。

#### (請求項10)

甲第7号証の表1およびその説明等には、水平および垂直同期信号の極性を示すモード信号も含めてRGB信号と合成し符号化してビデオ信号とすることが示されている。

また、甲第9号証の図10、14の同期オングリーン波形図およびその説明にも、水平および垂直同期信号の極性を示すモード信号も含めてR.G.B信号と合成し符合化してビデオ信号とすることが示されている。

従って、本請求項10は公知技術に過ぎないものである。

#### (請求項11)

甲第7号証の図1には、同期信号分離回路26、垂直・水平同期分離回路31が、甲第9号証の図1には水平／垂直同期分離部13が示されている。

従って、本請求項11は公知技術に過ぎないものである。

#### (請求項12)

甲第7号証の図1には走査モード検出回路32が、甲第9号証の図2には映像合成同期信号判別部32が示されている。

従って、本請求項12は公知技術に過ぎないものである。

#### (請求項13)

甲第7号証には走査周波数設定回路33が、甲第9号証の図2にパルス感知部35とパルス変換部36が示されている。

従って、本請求項13は公知技術に過ぎないものである。

#### (請求項14)

1. 甲第1号証および甲第2号証には、入力装置とビデオモニタを有する複数のワークステーションと複数の遠隔地コンピュータとを、第1の信号調整装置、第1の通信リンク、中央交差点スイッチ、第2の通信リンク、第2の信号調整装置を介して結合し、ワークステーションの入力装置の入力信号が第1の信号調整装置－第1の通信リンク－中央交差点スイッチ－第2の通信リンク－第2の信号調整装置を通じて遠隔地コンピュータを制御し、その制御に伴う画像信号が遠隔地コンピュータからワークステーションのビデオモニタに対し、第2の信号調整装置－第2の通信リンク－中央交差点スイッチ－第1の通信リンク－第1の信号調整装置を通じて伝送されるビデオ信号がビデオモニタに画像表示される、遠隔制御のコンピュータ

システムが開示されている。

また、甲第1号証の中央交差点スイッチ3の制御部3bは、ビデオ信号切換処理I、情報端末装置の画面切替処理IIを実行するもので、プログラム可能であることは明らかである。同様に、甲第2号証の中央交差点スイッチ8はスイッチマトリクスコントローラであり、プログラム可能であることも明らかである。

従って、甲第1号証および甲第2号証には、本請求項14の構成要素(a)～(j)のうち、構成要素(a)(b)(c)(d)(e)の構成が開示されている。

尚、甲第1号証および甲第2号証のワークステーションには「カーソル制御装置」が図示されていないが、甲第3号証のようにワークステーションにマウスも設けてマウス信号にて遠隔地コンピュータを制御することは公知である。

2. 甲第12号証には、ビデオモニタに印加される本来の画像表示用ビデオ信号に対し、文字や図形等のOSD表示を付加することが示されている。また甲第12号証の図2には、操作部27とマイコン28によってOSD表示の入力操作をし、OSD情報を入力可能とする構成が開示されている。

従って、甲第12号証には、本請求項14の構成要素(f)(i)(j)が開示されている。

3. 甲第15号証と甲第16号証には、内部同期信号発生部を有し、かつ内部同期信号と外部同期信号を選択するAFC回路が示されており、甲第16号証にはAFC回路にて選択した同期信号をOSDへ供給する構成が開示されている。

従って、甲第15号証および甲第16号証は、本請求項14の構成要素(g)(h)を開示している。

4. 以上のように、本請求項14の構成要素(a)～(j)は、甲第1号証～甲第3号証と、甲第12号証と、甲第15号証および甲第16号証の三組の公知例に示されている。

従って、その様な公知技術の単なる組み合わせは当業者が容易に発明し得るものであるから、本請求項14は特許法第29条第2項の規定に該当する。

(請求項15)

甲第17号証と甲第18号証に、同期信号を反転させる同期ポラライザ回路が開示されており、本請求項15は公知技術に過ぎないものである。

(請求項16)

甲第13号証には、本請求項16のバッファ回路と同様の機能を果たすOSD表示とビデオ信号とを切り換えるスイッチが開示されており、本請求項16は公知技術に過ぎないものである。

(請求項17、18)

本請求項17、18は、請求項14に公知の同期ポラライザ回路とバッファ回路を組み合わせたものであるが、そのような公知技術の単なる寄せ集めは特許に値するものではない。

(請求項19)

1. 甲第1号証および甲第2号証には、入力装置とビデオモニタを有する複数のワークステーションと複数の遠隔地コンピュータとを、第1の信号調整装置、第1の通信リンク、中央交差点スイッチ、第2の通信リンク、第2の信号調整装置を介して結合し、ワークステーションの入力装置の入力信号が第1の信号調整装置—第1の通信リンク—中央交差点スイッチ—第2の通信リンク—第2の信号調整装置を通じて遠隔地コンピュータを制御し、その制御に伴う画像信号が遠隔地コンピュータからワークステーションのビデオモニタに対し、第2の信号調整装置—第2の通信リンク—中央交差点スイッチ—第1の通信リンク—第1の信号調整装置を通じて伝送されるビデオ信号がビデオモニタに画像表示される、遠隔制御のコンピュータシステムが開示されている。

また、甲第1号証の中央交差点スイッチ3の制御部3bは、ビデオ信号切換処理I、情報端末装置の画面切替処理IIを実行するもので、プログラム可能であることは明らかである。同様に、甲第2号証の中央交差点スイッチ8はスイッチマトリクスコントローラであり、プログラム可能であることも明らかである。

従って、甲第1号証および甲第2号証には、本請求項19の構成要素(a)～(k)のうち、構成要素(a)(b)(c)(d)(e)(f)の構成が開示されている。

尚、甲第1号証および甲第2号証のワークステーションには「カーソル制御装置」が図示されていないが、甲第3号証のようにワークステーションにマウスも設けてマウス信号にて遠隔地コンピュータを制御することは公知である。

2. 甲第12号証には、ビデオモニタに印加される本来の画像表示用ビデオ信号に対し、文字や図形等のOSD表示を付加することが示されている。また甲第12号証の図2には、操作部27とマイコン28によってOSD表示の入力操作をし、OSD情報を入力可能とする構成が開示されている。

従って、甲第12号証には、本請求項19の構成要素(g)(j)(k)が開示されている。

3. 甲第15号証と甲第16号証には、内部同期信号発生部を有し、かつ内部同期信号と外部同期信号を選択するAFC回路が示されており、甲第16号証にはAFC回路にて選択した同期信号をOSDへ供給する構成が開示されている。

従って、甲第15号証および甲第16号証は、本請求項19の構成要素(h)(i)を開示している。

4. 以上のように、本請求項19の構成要素(a)～(k)は、甲第1号証～甲第3号証と、甲第12号証と、甲第15号証および甲第16号証の三組の公知例に示されている。

従って、その様な公知技術の単なる組み合わせは当業者が容易に發明し得るものであるから、本請求項19は特許法第29条第2項の規定に該当する。

#### (請求項20)

甲第15号証と甲第16号証には、内部同期信号発生部を有し、かつ内部同期信号と外部同期信号を選択するAFC回路が示されており、甲第16号証にはAFC回路にて選択した同期信号をOSDへ供給する構成が開示されている。

その際に、一方の同期信号を反転させる必要がある場合、甲第17号証と甲第18号証に開示される、同期信号を反転させる同期ポラライザ回路を設けることは公知技術の単なる組み合わせに過ぎず、特許に値するものではない。

(請求項 2 1)

甲第 1 3 号証には、本請求項 2 1 のバッファ回路と同様の機能を果たす OSD 表示とビデオ信号とを切り換えるスイッチが開示されており、本請求項 2 1 は公知技術に過ぎないものである。

(請求項 2 2)

1. 甲第 1 号証および甲第 2 号証には、入力装置とビデオモニタを有する複数のワークステーションと複数の遠隔地コンピュータとを、第 1 の信号調整装置、第 1 の通信リンク、中央交差点スイッチ、第 2 の通信リンク、第 2 の信号調整装置を介して結合し、ワークステーションの入力装置の入力信号が第 1 の信号調整装置 - 第 1 の通信リンク - 中央交差点スイッチ - 第 2 の通信リンク - 第 2 の信号調整装置を通じて遠隔地コンピュータを制御し、その制御に伴う画像信号が遠隔地コンピュータからワークステーションのビデオモニタに対し、第 2 の信号調整装置 - 第 2 の通信リンク - 中央交差点スイッチ - 第 1 の通信リンク - 第 1 の信号調整装置を通じて伝送されるビデオ信号がビデオモニタに画像表示される、遠隔制御のコンピュータシステムが開示されている。

また、甲第 1 号証の中央交差点スイッチ 3 の制御部 3 b は、ビデオ信号切換処理 I、情報端末装置の画面切替処理 II を実行するもので、プログラム可能であることは明らかである。同様に、甲第 2 号証の中央交差点スイッチ 8 はスイッチマトリクスコントローラであり、プログラム可能であることも明らかである。

従って、甲第 1 号証および甲第 2 号証には、本請求項 2 2 の構成要素(a)～(k)のうち、構成要素(a)(b)(c)(d)(e)(f)の構成が開示されている。

尚、甲第 1 号証および甲第 2 号証のワークステーションには「カーソル制御装置」が図示されていないが、甲第 3 号証のようにワークステーションにマウスも設けてマウス信号にて遠隔地コンピュータを制御することは公知である。

2. 甲第 1 2 号証には、ビデオモニタに印加される本来の画像表示用ビデオ信号に対し、文字や図形等の OSD 表示を付加することが示されている。また甲第 1 2 号証の図 2 には、操作部 2 7 とマイコン 2 8 によって OSD

表示の入力操作をし、O S D 情報を入力可能とする構成が開示されている。

従って、甲第 1 2 号証には、本請求項 2 2 の構成要素(g)(k)が開示されている。

3. 甲第 1 5 号証と甲第 1 6 号証には、内部同期信号発生部を有し、かつ内部同期信号と外部同期信号を選択する A F C 回路が示されており、甲第 1 6 号証には A F C 回路にて選択した同期信号を O S D へ供給する構成が開示されている。

また、一方の同期信号を反転させる必要がある場合、同期信号を反転させる同期ポラライザ回路を設けることは甲第 1 7 号証と甲第 1 8 号証に示されており、公知技術に過ぎないものである。

従って、甲第 1 5 号証～甲第 1 8 号証は、本請求項 2 2 の構成要素(h)(i)(j)を開示している。

4. 以上のように、本請求項 2 2 の構成要素(a)～(k)は、甲第 1 号証～甲第 3 号証と、甲第 1 2 号証と、甲第 1 5 号証～甲第 1 8 号証の三組の公知例に示されている。

従って、その様な公知技術の単なる組み合わせは当業者が容易に発明し得るものであるから、本請求項 2 2 は特許法第 29 条第 2 項の規定に該当する。

### (請求項 2 3)

1. 甲第 1 号証および甲第 2 号証には、入力装置とビデオモニタを有する複数のワークステーションと複数の遠隔地コンピュータとを、第 1 の信号調整装置、第 1 の通信リンク、中央交差点スイッチ、第 2 の通信リンク、第 2 の信号調整装置を介して結合し、ワークステーションの入力装置の入力信号が第 1 の信号調整装置－第 1 の通信リンク－中央交差点スイッチ－第 2 の通信リンク－第 2 の信号調整装置を通じて遠隔地コンピュータを制御し、その制御に伴う画像信号が遠隔地コンピュータからワークステーションのビデオモニタに対し、第 2 の信号調整装置－第 2 の通信リンク－中央交差点スイッチ－第 1 の通信リンク－第 1 の信号調整装置を通じて伝送されるビデオ信号がビデオモニタに画像表示される、遠隔制御のコンピュータシステムが開示されている。

また、甲第 1 号証の中央交差点スイッチ 3 の制御部 3 b は、ビデオ信号

切換処理Ⅰ、情報端末装置の画面切替処理Ⅱを実行するもので、プログラム可能であることは明らかである。同様に、甲第2号証の中央交差点スイッチ8はスイッチマトリクスコントローラであり、プログラム可能であることも明らかである。

従って、甲第1号証および甲第2号証には、本請求項23の構成要素(a)～(m)のうち、構成要素(a)(b)(c)(d)(e)(f)の構成が開示されている。

尚、甲第1号証および甲第2号証のワークステーションには「カーソル制御装置」が図示されていないが、甲第3号証のようにワークステーションにマウスも設けてマウス信号にて遠隔地コンピュータを制御することは公知である。

2. 甲第12号証には、ビデオモニタに印加される本来の画像表示用ビデオ信号に対し、文字や図形等のOSD表示を付加することが示されている。また甲第12号証の図2には、操作部27とマイコン28によってOSD表示の入力操作をし、OSD情報を入力可能とする構成が開示されている。

従って、甲第12号証には、本請求項23の構成要素(g)(l)(m)が開示されている。

3. 甲第15号証と甲第16号証には、内部同期信号発生部を有し、かつ内部同期信号と外部同期信号を選択するAFC回路が示されており、甲第16号証にはAFC回路にて選択した同期信号をOSDへ供給する構成が開示されている。

また、一方の同期信号を反転させる必要がある場合、同期信号を反転させる同期ポラライザ回路を設けることは甲第17号証と甲第18号証に示されており、公知技術に過ぎないものである。

従って、甲第15号証～甲第18号証は、本請求項23の構成要素(h)(i)(j)を開示している。

4. 甲第13号証には、本請求項23のバッファ回路と同様の機能を果たすOSD表示とビデオ信号とを切り換えるスイッチが開示されており、本請求項23の構成要素(k)は公知技術に過ぎないものである。

5. 以上のように、本請求項23の構成要素(a)～(k)は、甲第1号証～甲第3号証と、甲第12号証と、甲第15号証～甲第18号証と、甲第13号証の四組の公知例に示されている。

従って、その様な公知技術の単なる組み合わせは当業者が容易に発明し

得えるものであるから、本請求項 23 は特許法第 29 条第 2 項の規定に該当する。

(請求項 24)

1. 甲第 1 号証および甲第 2 号証には、入力装置とビデオモニタを有する複数のワークステーションと複数の遠隔地コンピュータとを、第 1 の信号調整装置、第 1 の通信リンク、中央交差点スイッチ、第 2 の通信リンク、第 2 の信号調整装置を介して結合し、ワークステーションの入力装置の入力信号が第 1 の信号調整装置—第 1 の通信リンク—中央交差点スイッチ—第 2 の通信リンク—第 2 の信号調整装置を通じて遠隔地コンピュータを制御し、その制御に伴う画像信号が遠隔地コンピュータからワークステーションのビデオモニタに対し、第 2 の信号調整装置—第 2 の通信リンク—中央交差点スイッチ—第 1 の通信リンク—第 1 の信号調整装置を通じて伝送されるビデオ信号がビデオモニタに画像表示される、遠隔制御のコンピュータシステムが開示されている。

また、甲第 1 号証および甲第 2 号証の第 2 の信号調整装置は、本請求項 24 の構成要素(a)の「コンピュータ側のインターフェイス」に、甲第 1 号証および甲第 2 号証の第 1 の信号調整装置は、本請求項 24 の構成要素(b)の「ユーザ側のインターフェイス」に対応している。

さらに、甲第 1 号証のワークステーション 4a～4m のビデオモニタ 4aln、4ala～4mln、4mla は、ビデオ信号ライン 11a～11m を通じて伝送されるビデオ信号を受信し、その表示画面へ画像表示するための回路手段を当然備えているが、それが本請求項 24 の構成要素(c)の「アナログビデオ回路」に対応している。また、甲第 2 号証のワークステーションコントローラ 13-1～13-n は、ビデオ信号線 10-1-1～10-n-n を通じて伝送されるビデオ信号を受信し、ビデオモニタ 14-1-1～14-n-11 へ画像表示する機能を有しているが、それが本請求項 24 の構成要素(c)の「アナログビデオ回路」に対応している。

従って、甲第 1 号証および甲第 2 号証は、本請求項 24 の構成要素(a)～(e)のうち、構成要素(a)(b)(c)を開示している。

2. 甲第 11 号証～甲第 14 号証には、ビデオモニタに印加される本来の画像表示用ビデオ信号に対し、文字や図形等の O.S.D 表示を付加すること

が示されており、本請求項 2 4 の構成要素(d)(e)である「アナログビデオオーバーレイイメージ生成回路」と「アナログオーバーレイ回路」は周知技術に過ぎないものである。

3. 本請求項 2 4においては、甲第 1 号証と甲第 2 号証のワークステーション側の第 1 信号調整装置と遠隔地コンピュータ側の第 2 信号調整装置間に、O S D 表示機能（「アナログビデオオーバーレイイメージ生成回路」と「アナログオーバーレイ回路」）を付加することが規定されているが、甲第 1 1 号証～甲第 1 4 号証のO S D 表示機能もビデオモニタへ印加されるビデオ信号に対し付加されており、本請求項 2 4 の付加構成と同様となっている。

3. 従って、本請求項 2 4 は単に甲第 1 号証と甲第 2 号証に、甲第 1 1 号証～甲第 1 4 号証の構成を加えたに過ぎないものであり、その様な周知技術の単なる組み合わせは当業者が容易に発明し得えるもので、特許法第 29 条第 2 項の規定に該当する。

#### (請求項 2 5)

甲第 1 0 号証の同期信号検出手段 6 は、本請求項 2 5 の同期信号検出回路と同様の構成である。

従って、本請求項 2 5 は公知技術に過ぎないものである。

#### (請求項 2 6)

甲第 2 号証には、コンピュータ側にインターフェース 5 -1～5 -n とを設け、ユーザ側にインターフェース 1 3 -1～1 3 -n または 1 7 -1～1 7 -n を設けることが開示されており、このようなインターフェースを甲第 3 号証のマウスを含む遠隔コンピュータシステムに適用することは当業者であれば容易に類推し得ることである。

従って、本請求項 2 6 は、特許に値するものではない。

#### (請求項 2 7)

甲第 1 4 号証には、切り替えスイッチ 5、6、8、9、1 3 等によって、アナログビデオ信号とO S D 信号を多重化することが示されている。

従って、本請求項 2 7 は公知技術に過ぎないものである。

(請求項 2 8)

甲第 4 号証には、キーボード信号をフォーマットへ変換する変換器 6 を、  
入力部とコンピュータ間に設けることが開示されている。  
従って、本請求項 2 8 は公知技術に過ぎないものである。

(請求項 2 9)

甲第 7 号証～甲第 9 号証に、本請求項 2 9 と同様なアナログビデオ受信  
回路が開示されており、本請求項 2 9 は周知技術に過ぎないものである。

(請求項 3 0)

甲第 7 号証～甲第 9 号証に、本請求項 3 0 と同様なアナログビデオ受信  
回路が開示されており、本請求項 3 0 は周知技術に過ぎないものである。

(請求項 3 1)

甲第 7 号証～甲第 9 号証に、本請求項 3 1 と同様なアナログビデオ受信  
回路が開示されており、本請求項 3 1 は周知技術に過ぎないものである。

(請求項 3 2)

甲第 7 号証～甲第 9 号証に、本請求項 3 2 と同様なアナログビデオ受信  
回路が開示されており、本請求項 3 2 は周知技術に過ぎないものである。

(請求項 3 3)

甲第 7 号証～甲第 9 号証に、本請求項 3 3 と同様なアナログビデオ受信  
回路が開示されており、本請求項 3 3 は周知技術に過ぎないものである。

(請求項 3 4)

本請求項 3 4 は、単にアナログ回路とデジタル回路の経路が独立している  
と言っているに過ぎないもので、そのようなことは当然のことであり、何ら  
発明に値するものではない。

(請求項 3 5)

甲第3号証には、本請求項35と同様な切替スイッチB41～B43、B51～53が開示されており、本請求項35は公知技術に過ぎないものである。

(請求項36)

甲第1号証の第1図において、例えばキーボード4a2とビデオモニタ4a1n、4a1aを第1とし、キーボード4m2とビデオモニタ4m1n、4m1aは第2とすれば、それらは独立した専用ケーブルで接続されており、中央交差点スイッチ3の制御手法によっては遠隔地コンピュータのいずれかのアナログビデオ信号が並列に第1と第2のビデオモニタ4a1n、4a1a、4m1n、4m1aの両方に同時に導くことも可能な構成になっている。

従って、本請求項36は公知技術に過ぎないものである。

(請求項37)

甲第1号証の【0016】～【0018】に本請求項37と同様のキーボードコマンド検出器が開示されており、本請求項37は公知技術に過ぎないものである。

(請求項38)

本請求項38は、単にアナログ回路とデジタル回路の経路が独立していると言っているに過ぎないので、そのようなことは当然のことであり、何ら発明に値するものではない。

(請求項39)

甲第1号証の【0016】～【0018】に本請求項39と同様のキーボードコマンド検出器が開示されており、本請求項39は公知技術に過ぎないものである。

(請求項40)

本請求項40は、単にアナログ回路とデジタル回路の経路が独立していると言っているに過ぎないので、そのようなことは当然のことであり、何ら発明に値するものではない。

#### (4) 結び

以上のとおりであり、本件特許の請求項 1～40は何れも、当業者が容易に発明できるもので、特許法第29条第2項の規定に該当する。

従って、本件特許は、特許法第113条第2号により取り消しすべきものである。

#### 4. 証拠方法

- (1)甲第1号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平5-27721号公報”を使用し、その写を提出する。
- (2)甲第2号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平5-81196号公報”を使用し、その写を提出する。
- (3)甲第3号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平4-177525号公報”を使用し、その写を提出する。
- (4)甲第4号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平5-277890号公報”を使用し、その写を提出する。
- (5)甲第5号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平7-141279号公報”を使用し、その写を提出する。
- (6)甲第6号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平7-46557号公報”を使用し、その写を提出する。
- (7)甲第7号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平5-158451号公報”を使用し、その写を提出する。
- (8)甲第8号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平5-61445号公報”を使用し、その写を提出する。
- (9)甲第9号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平7-15742号公報”を使用し、その写を提出する。
- (10)甲第10号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平6-51729号公報”を使用し、その写を提出する。
- (11)甲第11号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平6-95639号公報”を使用し、その写を提出する。
- (12)甲第12号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平6-133243号公報”を使用し、その写を提出する。
- (13)甲第13号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平6-

－ 1 3 3 2 4 0 号公報” を使用し、その写を提出する。

(14) 甲第 1 4 号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平 7

－ 1 5 6 8 1 号公報” を使用し、その写を提出する。

(15) 甲第 1 5 号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平 5

－ 2 2 7 4 5 3 号公報” を使用し、その写を提出する。

(16) 甲第 1 6 号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平 5

－ 2 9 9 9 8 4 号公報” を使用し、その写を提出する。

(17) 甲第 1 7 号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“特開平 5

－ 1 4 6 8 2 号公報” を使用し、その写を提出する。

(18) 甲第 1 8 号証として、本件特許の優先権主張日前に公開された“実開平 5

－ 4 6 6 8 号公報” を使用し、その写を提出する。

## 5. 添付書類又は添付物件の目録

(1) 甲第 1 号証 (写)	正本 1 通及び副本 2 通
(2) 甲第 2 号証 (写)	〃
(3) 甲第 3 号証 (写)	〃
(4) 甲第 4 号証 (写)	〃
(5) 甲第 5 号証 (写)	〃
(6) 甲第 6 号証 (写)	〃
(7) 甲第 7 号証 (写)	〃
(8) 甲第 8 号証 (写)	〃
(9) 甲第 9 号証 (写)	〃
(10) 甲第 1 0 号証 (写)	〃
(11) 甲第 1 1 号証 (写)	〃
(12) 甲第 1 2 号証 (写)	〃
(13) 甲第 1 3 号証 (写)	〃
(14) 甲第 1 4 号証 (写)	〃
(15) 甲第 1 5 号証 (写)	〃
(16) 甲第 1 6 号証 (写)	〃
(17) 甲第 1 7 号証 (写)	〃
(18) 甲第 1 8 号証 (写)	〃
(19) 特許異議申立書	副本 2 通